

平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場取引所 大

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大野 利美知
 (氏名) 小高 芳夫

TEL 03-3362-7130

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	21,928	11.5	1,259	29.8	1,130	35.4	568	52.1
23年5月期第3四半期	19,663	16.4	970	63.5	835	85.6	373	84.9

(注) 包括利益 24年5月期第3四半期 569百万円 (49.3%) 23年5月期第3四半期 381百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	7,574.84	—
23年5月期第3四半期	6,134.35	—

(注) 平成23年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	17,979	3,429	18.3
23年5月期	15,338	2,919	18.2

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 3,289百万円 23年5月期 2,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	2,600.00	2,600.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。そのため、平成24年5月期(予想)の年間配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、平成23年5月期の年間配当金につきましては、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,980	8.0	1,678	12.1	1,511	12.6	702	24.8	9,369.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成23年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。そのため、平成24年5月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出してあります。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	78,495 株	23年5月期	78,495 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	3,492 株	23年5月期	3,492 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	75,003 株	23年5月期3Q	60,903 株

平成23年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料3ページ)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年6月1日～平成24年2月29日）における国内外の経済状況は、欧米諸国の政府債務に関する危機感が一旦後退し、これまでの一本調子な円高基調も修正され、国内株式相場もようやく反転しました。しかしながら、原油や電力等のエネルギー問題や不安定な政局等により、国内の経済環境は今後も予断を許さない状況にあります。

このような情勢のもと、調剤薬局の展開運営を主事業としている当社グループでは、平成24年度調剤報酬改定への適切な対応を重要経営課題と位置付けています。平成24年度調剤報酬改定の主な趣旨は、①後発医薬品の使用促進、②在宅医療の推進、③薬歴管理指導料の包括化、以上の3点と認識しています。これらに対して当社グループでは、①後発医薬品調剤体制加算の店舗算定率と数量割合をアップさせる、②在宅医療の推進体制を強化し訪問患者数を増加させる、③お薬手帳の保有率を向上させる、以上の3点に注力して対処する所存であります。これらのうち、特に後発医薬品や在宅医療への取り組みは、当社グループが既に掲げている新たな成長ステージに向けた「3つのブレークスルー戦略（付加価値戦略、地域密着戦略、シナジー戦略）」における「付加価値戦略」の延長線上にあるものです。今回の調剤報酬改定が当社グループの競争力を高める機会となるよう努力してまいります。

当社グループでは、当年度期初より「3つのブレークスルー戦略（付加価値戦略、地域密着戦略、シナジー戦略）」に鋭意取り組んでまいりました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は21,928百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は1,259百万円（同29.8%増）、経常利益は1,130百万円（同35.4%増）、四半期純利益は568百万円（同52.1%増）と順調に推移させることができております。

なお、当社が平成23年9月30日付で全株式を取得し、完全子会社化した株式会社テラ・ヘルスプロモーション（平成23年9月29日付「株式会社テラ・ヘルスプロモーションの株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ」ご参照）の業績は当社グループの当第3四半期連結会計期間から寄与しております。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

（調剤薬局事業）

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運営する調剤薬局店舗数は、期初から8店舗増加し170店舗（直営168店舗、FC2店舗）となりました。増加店舗の内訳は、平成23年9月に子会社化した株式会社テラ・ヘルスプロモーションの7店舗（大阪府6店舗、和歌山県1店舗）とファーマライズ薬局氷見店（富山県）、くしろ市民薬局（北海道）であります。一方で、ファーマライズ薬局榛原店（静岡県）を休局しております。薬局運営面につきましては、前期に引き続き、地域医療（在宅医療・施設調剤）と後発医薬品に関する対策を推進してまいりました。特に後発医薬品につきましては、従来の方針である「安全と効果の検証」を踏まえた上で積極的な対応を加速しております。

また、調剤薬局の機能を開発するという観点から、当社グループの運営する調剤薬局において第一類医薬品を充実させることに加えてメディカルアロマや医療用サプリメントを取り揃えて、新たな付加価値の提供に向けた模索を続けております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、売上高は21,188百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は1,397百万円（同24.1%増）となりました。

（その他）

その他の事業の主な内容は、ファーマライズ株式会社がJR札幌駅内「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」の7階から9階に展開する「ファーマライズ医療モール」の運営であります。その他は、当社による処方データの販売、子会社の株式会社ふじい薬局による化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣事業であります。

その他の事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は739百万円（前年同期比41.8%増）、セグメント利益は9百万円（同10百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は17,979百万円となり、前連結会計年度末残高15,338百万円に対し、2,640百万円増加しました。この主な要因は、順調に業績が推移し、積極的に資金調達を行ったことに伴い現金及び預金の残高が4,860百万円となり前連結会計年度末残高3,569百万円に対し1,290百万円、新規出店やM&Aに伴い固定資産の残高が8,963百万円となり前連結会計年度末残高7,641百万円に対し1,321百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は14,549百万円となり、前連結会計年度末残高12,419百万円に対し2,130百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の残高が5,473百万円となり、前連結会計年度末残高4,120百万円に対し1,353百万円増加し、1年内償還予定の社債、社債の合計残高が1,520百万円となり、前連結会計年度末残高260百万円に対し1,260百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計残高が6,014百万円となり、前連結会計年度末残高6,339百万円に対し325百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,429百万円となり、前連結会計年度末残高2,919百万円に対し510百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の残高が1,788百万円となり、前連結会計年度末残高1,285百万円に対し503百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月14日付で公表いたしました平成24年5月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第3四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下の通りです。

1株当たり四半期純利益 18,403.04円

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,569,971	4,860,745
売掛金	805,558	1,071,624
商品	798,526	1,035,768
未収入金	2,139,137	1,625,982
その他	372,348	394,047
貸倒引当金	△1,162	△1,845
流動資産合計	7,684,379	8,986,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,729,149	1,690,412
土地	1,592,281	1,908,945
その他(純額)	423,520	381,950
有形固定資産合計	3,744,950	3,981,307
無形固定資産		
のれん	1,880,702	2,768,254
ソフトウェア	228,190	149,279
その他	30,259	84,472
無形固定資産合計	2,139,151	3,002,006
投資その他の資産		
差入保証金	795,371	821,066
その他	1,077,348	1,274,182
貸倒引当金	△115,155	△115,155
投資その他の資産合計	1,757,564	1,980,093
固定資産合計	7,641,667	8,963,407
繰延資産		
株式交付費	8,994	6,536
社債発行費	3,419	23,057
繰延資産合計	12,414	29,594
資産合計	15,338,461	17,979,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,120,023	5,473,577
短期借入金	90,000	60,000
1年内償還予定の社債	40,000	365,000
1年内返済予定の長期借入金	2,306,757	2,211,870
未払法人税等	349,277	225,270
賞与引当金	10,595	95,956
その他	664,780	512,624
流動負債合計	7,581,434	8,944,297
固定負債		
社債	220,000	1,155,000
長期借入金	4,032,669	3,802,267
退職給付引当金	164,212	180,488
その他	420,836	467,791
固定負債合計	4,837,717	5,605,546
負債合計	12,419,151	14,549,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,545	815,545
資本剰余金	762,846	762,846
利益剰余金	1,285,727	1,788,860
自己株式	△88,308	△88,308
株主資本合計	2,775,810	3,278,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,092	10,859
その他の包括利益累計額合計	15,092	10,859
少数株主持分	128,406	139,678
純資産合計	2,919,309	3,429,481
負債純資産合計	15,338,461	17,979,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	19,663,992	21,928,364
売上原価	16,730,045	18,619,630
売上総利益	2,933,946	3,308,733
販売費及び一般管理費	1,963,363	2,049,247
営業利益	970,583	1,259,486
営業外収益		
受取利息	4,485	3,304
受取配当金	650	818
持分法による投資利益	—	15,906
受取賃貸料	11,613	15,902
その他	21,599	15,751
営業外収益合計	38,348	51,683
営業外費用		
支払利息	99,061	102,136
持分法による投資損失	6,677	—
支払手数料	18,905	22,288
休止固定資産費用	30,413	31,843
その他	18,684	24,468
営業外費用合計	173,742	180,737
経常利益	835,190	1,130,432
特別利益		
固定資産売却益	1,115	—
貸倒引当金戻入額	7,943	—
特別利益合計	9,058	—
特別損失		
固定資産売却損	—	22,146
固定資産除却損	877	3,478
減損損失	17,696	—
貸倒引当金繰入額	46,640	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,171	—
特別損失合計	70,385	25,624
税金等調整前四半期純利益	773,863	1,104,807
法人税等	395,746	531,524
少数株主損益調整前四半期純利益	378,116	573,283
少数株主利益	4,516	5,147
四半期純利益	373,600	568,135

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378,116	573,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,045	△2,237
持分法適用会社に対する持分相当額	2,002	△1,994
その他の包括利益合計	3,047	△4,232
四半期包括利益	381,164	569,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,647	563,903
少数株主に係る四半期包括利益	4,516	5,147

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	19,142,364	19,142,364	521,627	19,663,992	—	19,663,992
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,142,364	19,142,364	521,627	19,663,992	—	19,663,992
セグメント利益又は損失 (△)	1,126,185	1,126,185	△1,017	1,125,167	△154,584	970,583

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△154,584千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	21,188,536	21,188,536	739,827	21,928,364	—	21,928,364
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,188,536	21,188,536	739,827	21,928,364	—	21,928,364
セグメント利益	1,397,244	1,397,244	9,293	1,406,537	△147,051	1,259,486

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△147,051千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日）

該当事項はありません。